



油断禁物！「結核」は過去の病気じゃない！！

令和3年10月6日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和3年第39週分・9月27日～10月3日)

《インフォメーション》

●結核

結核は過去の病気と思われがちですが、今もなお、毎年1万人を超える新規結核患者が全国で報告され(上図)、約2千人が亡くなっています。富山県では、2020年に71人の新規患者が報告されました。患者の年代は高齢者に多い状態が続いています(下図)。また、20～30歳代の若い年代においては、外国生まれが多く、新規患者における外国生まれの割合は増加傾向です(2020年で11.1%)。

結核は、結核菌を原因とする感染症です。結核菌は肺に侵入して病巣を作ることが多く、患者の咳などに含まれる菌が飛散し、空気中を浮遊します。人が結核菌を吸い込むことで感染します(空気感染)。感染しても通常は免疫により菌の増殖が抑えられるため、感染者の8～9割は発病することなく一生を過ごします。一方、感染者の1～2割は発病し、感染から6ヶ月～2年後までの発病が多いとされています。また、加齢などで免疫力が低下することで発病する場合があります。結核は、発病しても早期発見、治療により治る病気です。しかし、肺結核は、咳、痰、微熱や倦怠感などの軽い症状が長引き、気づかないうちに進行してしまふことがあります。このような症状が2週間以上続き、いつもの風邪症状と異なるようであれば、その旨を医師に相談してください。早期診断につなげることが大事です。

また、乳幼児の場合、抵抗力が弱く、感染すると重症化します。このため、乳幼児には1歳の定期接種対象年齢(推奨時期：生後5～8ヵ月未満)までにBCGワクチンを必ず接種させましょう。

《全数報告の感染症》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 18件

四類感染症 レジオネラ症 3件(①第38週診断分：50歳代、男性、肺炎型

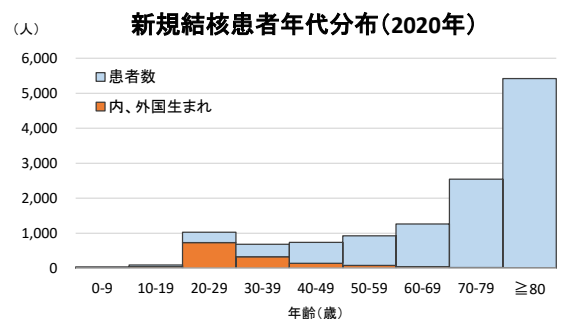
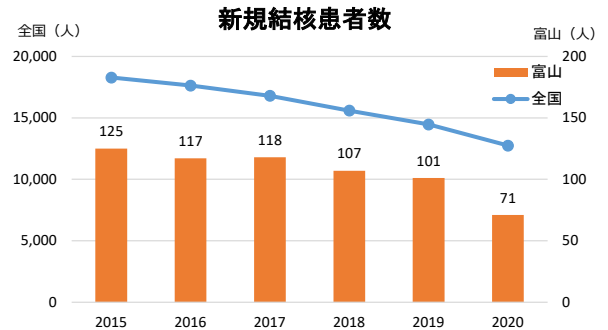
②③ともに第38週診断分：70歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(第38週診断分：90歳代、男性、G群)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位7疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	1.83(↓)	2.86
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.28(↑)	0.17
3位	突発性発しん	0.24(↓)	0.28
4位	咽頭結膜熱	0.21(↑)	0.10
5位	RSウイルス感染症	0.03(↓)	0.17
	水痘	0.03(↓)	0.14
	ヘルパンギーナ	0.03(↓)	0.07

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>
お問い合わせURL: https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/#tmp_inquiry



出典：厚生労働省 2020年結核登録者情報調査年報集計結果について

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第39週 令和3年9月27日～令和3年10月3日）

分類	疾患	今週報告分（第39週）						累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	1	1	1	5	10		18	370	279	1,065	295	2,115	98	4,222
二類感染症	結核								10	6	27	11	45		99
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1	7	1	5		14
四類感染症	E型肝炎								3				2		5
	A型肝炎								1						1
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症								3	3	14	1	9		30
五類感染症	アメーバ赤痢								1				2		3
	ウイルス性肝炎								2				1		3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										2	2	4		8
	急性脳炎										1		1		2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										5	2	2		9
	後天性免疫不全症候群								1			2	1		4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		2		12		15
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒								1	1	5		20		27
	播種性クリプトコックス症												2		2
	破傷風											1			1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5			
RSウイルス感染症						1		1	132	130	1,578	391	825		3,056
咽頭結膜熱		1	1	2		2		6	40	40	138	7	143		368
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1		2	1	4		8	67	39	448	85	237		876
感染性胃腸炎		14	10	7	6	16		53	675	386	552	210	1,220		3,043
水痘						1		1	1	12	29	13	52		107
手足口病									7		14	2	14		37
伝染性紅斑									1	1	9	1	19		31
突発性発しん		2	1	3		1		7	51	31	130	46	114		372
ヘルパンギーナ		1						1	27	24	84	4	20		159
流行性耳下腺炎						1		1	2	2	9	8	13		34
流行性角結膜炎									3	1					4
細菌性髄膜炎													2		2
無菌性髄膜炎													2		2
マイコプラズマ肺炎											1	9	1		11
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1						1
インフルエンザによる入院患者（※2）													1		1

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じる場合があります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週（9月6日）～の集計です。